

2019年3月期 決算説明会

2019年5月16日

nms ホールディングス株式会社

(JASDAQ 2162)

Piece of Innovation.

nms
Holdings

nms ホールディングス株式会社

2019年3月期 決算概要

● 売上高

EMS事業における工作機械関連や海外白物家電関連の需要減があったものの、人材ソリューション事業（HS事業）は国内人材ビジネスを中心に堅調に推移し増収

● 利益

- EMS事業、PS事業における中国の景気減速による受注減及び部材価格高騰等による利益圧迫要因に加え、HS事業における外国人技能実習生関連業務受託や物流3PL受託・テクニカル流通加工事業、技術者派遣事業会社立ち上げなど約6億円の先行投資コストを反映
- 2019年2月8日公表の業績予想に対し、営業利益・経常利益とも上回って着地
当期純利益は、事業整理損の反映があり予想に対し微減となったが、改革効果を2019年度業績において取り込む

(単位：百万円)	業績予想 (2019年2月8日公表)	実績	差異
売上高	57,500	57,759	+0.5%
営業利益	520	548	+5.4%
経常利益	510	569	+11.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	430	415	△3.5%

1. 2019年3月期 通期業績ハイライト

売上高は堅調に推移、利益については先行投資コストの反映や構造改革の実行もあり減益となったが、2019年度業績において効果の刈り取りを行っていく

(単位：百万円)	2018年3月期 実績	2019年3月期		
		実績	前年同期比	主なポイント
売上高	54,172	57,759	+6.6%	【売上高】 HS事業、PS事業が堅調に推移
営業利益	1,292	548	△57.5%	【営業利益】 先行投資コストや部材価格高騰等の利益圧迫要因あり減益
経常利益	1,506	569	△62.2%	【経常利益】 営業外収益 542百万円 (前年同期比 74百万円増) 営業外費用 522百万円 (前年同期比 267百万円増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,188	415	△65.0%	【特別利益】 固定資産売却益 126百万円 投資有価証券売却益 38百万円 為替換算調整勘定取崩益 91百万円 【特別損失】 事業構造改革費用 47百万円 事業整理損 99百万円

2. セグメント別業績ハイライト

(単位：百万円)		2018年3月期 実績	2019年3月期		
			実績	前年同期比	主なポイント
HS事業	売上高	17,069	19,331	+13.3%	ロジスティクス関連新会社や外国人技能実習生向け研修事業会社等の先行投資コスト（約6億円）が利益圧迫要因となったが国内需要は堅調に推移
	セグメント利益	610	196	△67.8%	
EMS事業	売上高	26,165	25,819	△1.3%	工作機械関連や海外白物家電における需要減速に加え、ベトナム生産拠点設立等によるコスト計上があったが来期以降に向けた施策を実行
	セグメント利益	648	436	△32.6%	
PS事業	売上高	10,936	12,608	+15.3%	部材価格高騰の影響により減益となったが、需要端境期を脱し新規受注寄与もあり売上回復 電池パックの出荷・納入も開始
	セグメント利益	469	443	△5.6%	
調整額	セグメント利益	△436	△527	—	当社（持株会社）に係る全社費用 * 持株会社化に伴い、当費用は各セグメントに配分せず「調整額」に区分
合計	売上高	54,172	57,759	+6.6%	
	セグメント利益	1,292	548	△57.5%	

* HS事業：ヒューマンソリューション事業 EMS事業：エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業 PS事業：パワーサプライ事業

売上高

19,331百万円

前年同期比 13.3%増

セグメント利益

196百万円

前年同期比 67.8%減

【事業母体】

日本マニファクチャリング
サービスグループ



国内

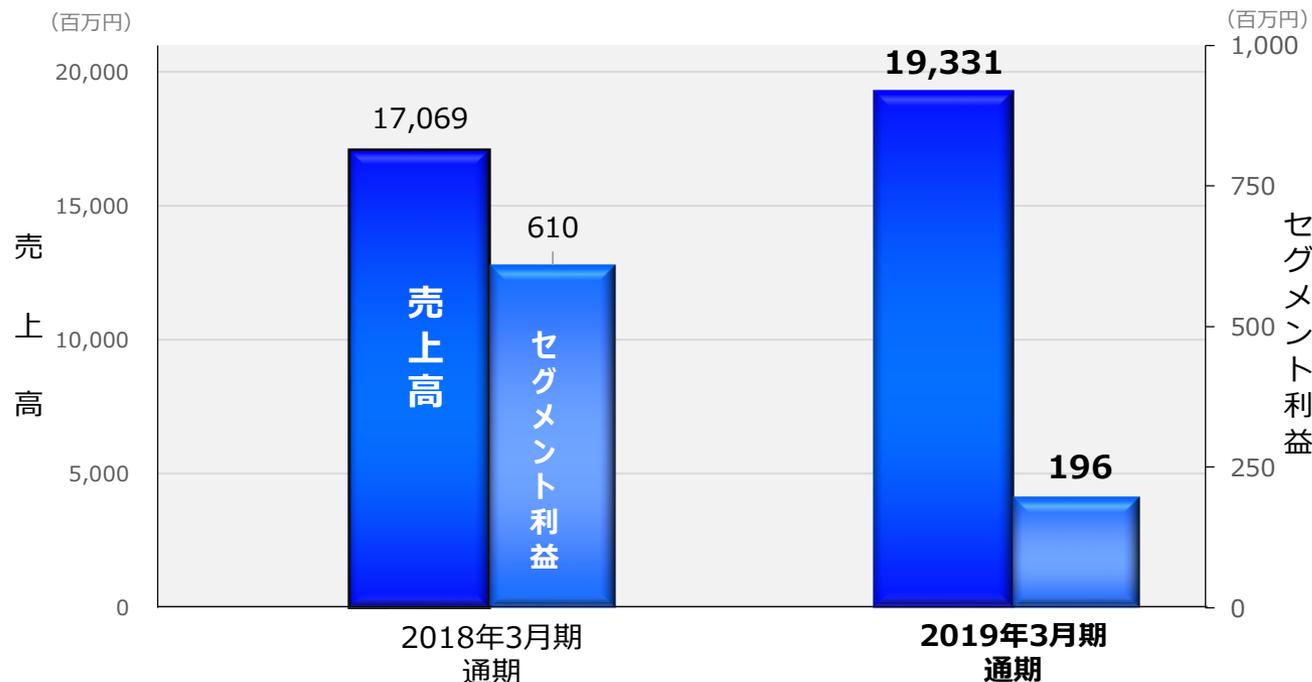
製造派遣・製造請負事業においては、正社員化や外国人技能実習生の活用などにより、採用力強化と定着率向上を図り、需要は堅調に推移



海外

中国での市場環境変化、人件費高騰等が継続したが、海外現地における製造請負を展開、ベトナム・タイにおいては、グループ内EMS事業ノウハウを組み合わせ、省力化導入提案など新たなサービスも推進し収益性向上を図る

外国人技能実習生関連受託業務や、物流3PL受託・テクニカル流通加工事業会社設立による、先行投資コストに加え、技術者派遣事業会社の連結化による立ち上げコストの反映などが利益圧迫要因となったが、成長戦略の一環であり、早期の成果刈り取りを進め、収益性向上を図る



売上高

25,819百万円

前年同期比 1.3%減

セグメント利益

436百万円

前年同期比 32.6%減

【事業母体】

- ・志摩電子工業グループ
- ・TKRグループ



国内

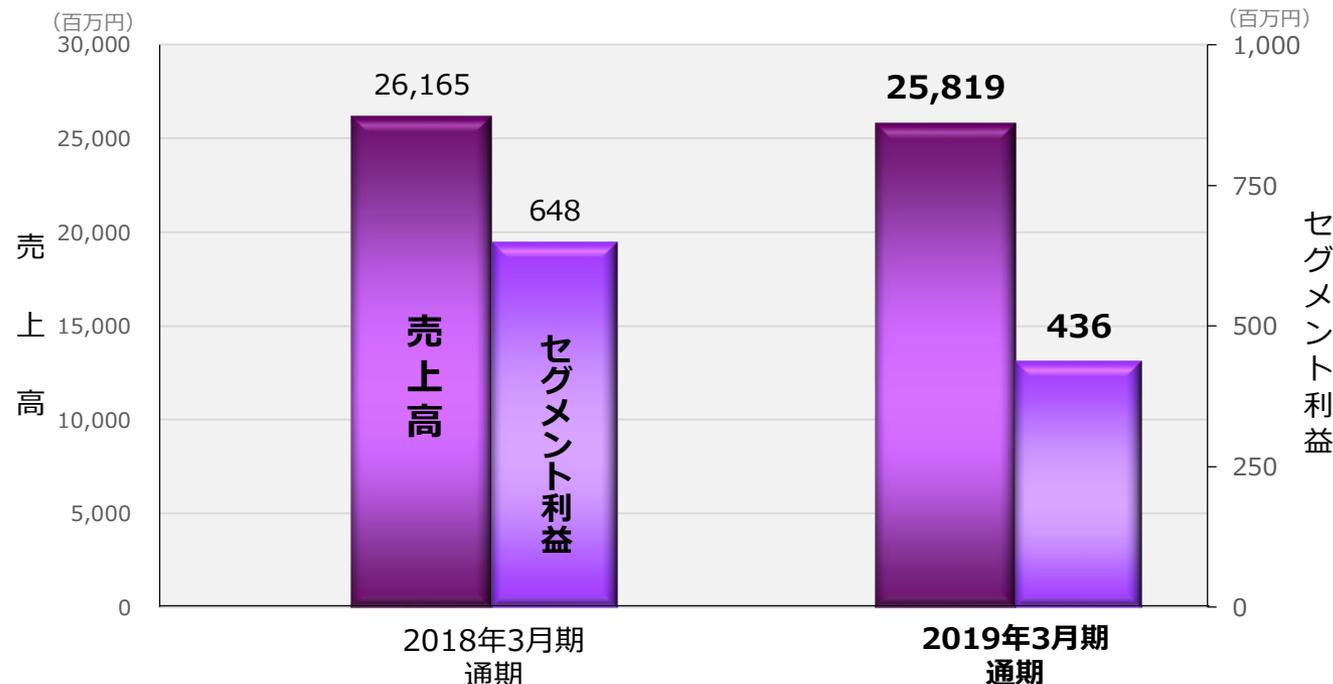
第2四半期に入り、工作機械関連の需要が減速したが、既存製品を中心に概ね堅調に推移



海外

マレーシアにおいては白物家電関連の需要減速があったものの、中国における需要は堅調に推移

株式会社テーケアール（TKR）：中国、マレーシアに続き、2019年4月にベトナム新工場が完成、2019年3月31日にはソニー株式会社から同社米国法人Sony Electronics Inc.の事業部門Sony Service and Operations of Americasの機能及び事業、並びにメキシコ生産拠点を事業譲受するなど、グローバル事業体制の拡充を推進し、事業規模拡大をめざす



売上高

12,608百万円

前年同期比 15.3%増

セグメント利益

443百万円

前年同期比 5.6%減

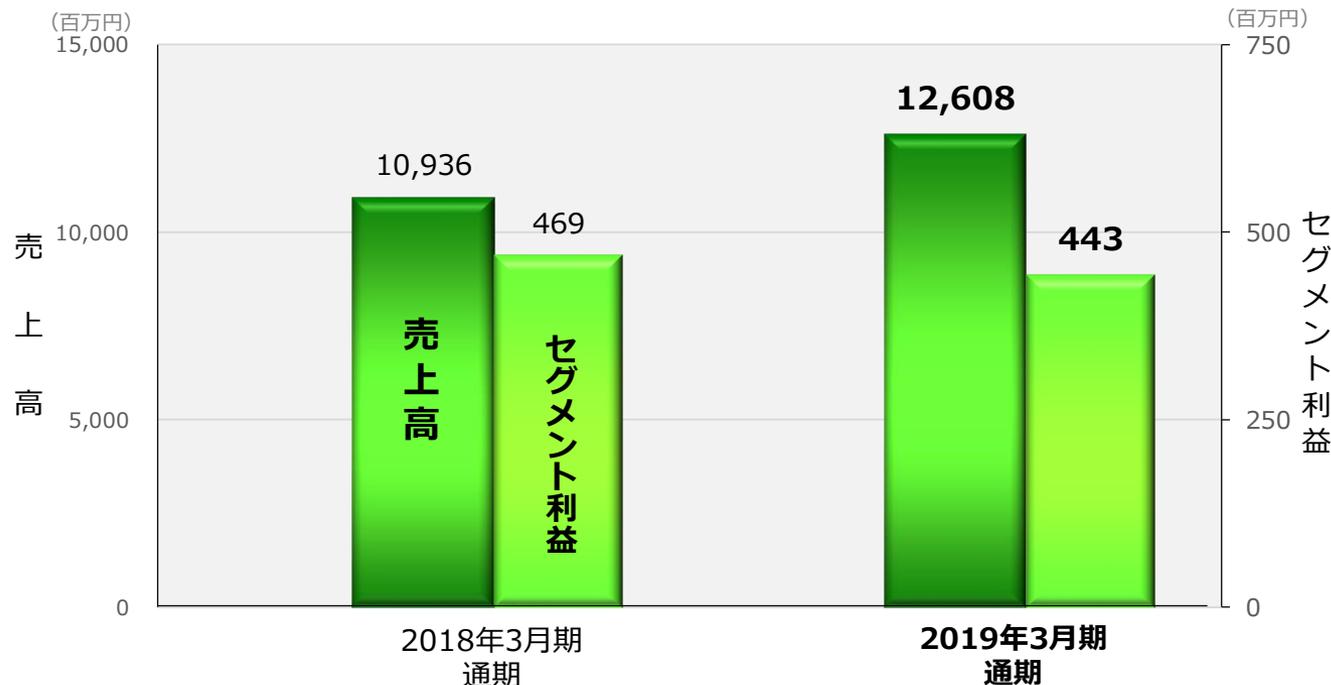
【事業母体】

パワーサプライテクノロジー株式会社

全体

- ・既存製品の需要調整や、新規分野への製品投入までの端境期を脱し、新規受注の量産化が順次スタート、サンプル品出荷増もあり売上回復
- ・これまで培ってきた電源技術を活かし「電池マネジメントシステム事業」を始動、リチウムイオン二次電池パックの受注引き合いが好調に推移
- ・その開発・製造拠点として2018年1月11日に「松阪工場」（三重県）を開設、2018年9月に生産を立ち上げ、10月より納入開始

電池パックの応用分野が広がっており、「基盤強化」と「新製品開発・製造・拡販」の両輪で売上・利益の拡大をめざす



3. 業績ハイライト (B/S)

(単位：百万円)	2018年3月期	2019年3月期	増減	主なポイント
流動資産	20,434	22,082	+1,648	現預金 △290 売掛 +699 在庫 +1,057
固定資産	6,061	7,380	+1,319	
有形固定資産	4,505	5,612	+1,107	PS事業/松阪工場取得により増加
無形固定資産	503	540	+36	
投資その他の資産	1,053	1,227	+174	
資産合計	26,496	29,462	+2,966	
負債合計	20,345	23,717	+3,371	
流動負債	13,584	21,744	+8,159	【借入金残高】 19/3末 14,286
固定負債	6,761	1,973	△4,787	18/3末 10,636
純資産合計	6,150	5,744	△405	
負債・純資産合計	26,496	29,462	+2,966	

4. 業績ハイライト (C/F)

(単位：百万円)	2018年3月期	2019年3月期	主なポイント
税金等調整前当期純利益	1,664	694	
減価償却費	716	828	
運転資金の増減	△132	△1,852	売掛 △885 在庫 △1,210 買掛 243
その他	18	△942	
営業キャッシュ・フロー	2,266	△1,272	
固定資産の取得・売却	△604	△1,943	売却収入 311 取得支出 △2,255
その他	516	△156	投資有価証券売却収入 78
投資キャッシュ・フロー	△87	△2,100	
フリーキャッシュ・フロー	2,178	△3,372	
借入金の増減	△1,115	3,676	
配当金支払 他	△17	△521	配当金 △77
財務キャッシュ・フロー	△1,133	3,154	
現金及び現金同等物期末残高	4,449	4,195	

5. 2020年3月期 業績予想

- 2020年3月期はEMS事業セグメントを中心とした、戦略投資実行による利益圧迫要因があるものの、前期までに実行した投資の刈り取りを進め、増収増益を計画
- 「新・中期経営計画」（2019年2月8日公表）達成に向け、2019年度は基盤構築を確実に進め、次のステージをめざす

(単位：百万円)	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前期比
売上高	57,759	72,000 上期：32,000/下期：40,000	+24.7%
営業利益	548	1,300 上期：100/下期：1,200	+136.9%
経常利益	569	1,000 上期：60/下期：940	+75.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	415	850 上期：165/下期：685	+104.5%

(参考) セグメント別 通期業績予想

- HS事業は先行投資の刈り取りに加え、国内・海外ともに堅調な推移を見込む
- EMS事業はメキシコやベトナムなど先行投資負担があるため減益となるもののPS事業は緩やかな上昇基調が続く見込み

(単位：百万円)		2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前期比
HS事業	売上高	19,331	27,740	+43.5%
	セグメント利益	196	1,070	+446.0%
EMS事業	売上高	25,819	29,960	+16.0%
	セグメント利益	436	310	△28.9%
PS事業	売上高	12,608	14,300	+13.4%
	セグメント利益	443	515	+16.3%
調整額	セグメント利益	△527	△595	—
合計	売上高	57,759	72,000	+24.7%
	セグメント利益	548	1,300	+137.2%

新・中期経営計画概要

—変化を好機に 攻めの施策で成長基盤を構築—

1. 新・中期経営計画 目標数値 (2019年2月8日公表)

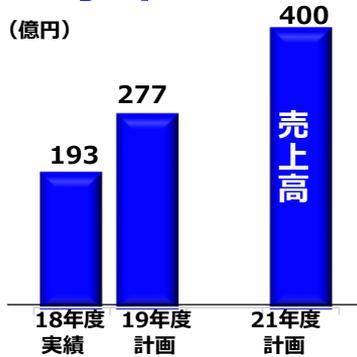
アクションプランの確実な実行と投資効果の刈り取りにより
 「2021年度 (2022年3月期) 売上高1,000億円、営業利益40億円」
 を計画、2019年度からの3カ年で利益の3倍成長をめざす

	2018年度 (2019年3月期)	2019年度 (2020年3月期)	2020年度 (2021年3月期)	2021年度 (2022年3月期)
売上高	578億円	720億円	850億円	1,000億円
営業利益	5.5億円	13億円	26億円	40億円
EBITDA	14億円	23億円	40億円	58億円

2. 新・中期経営計画 アクションプラン

HS事業

(億円)



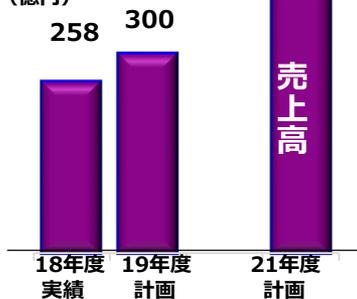
① 外国人技能実習生の管理受託規模拡大
(2020年3月末時点で3,000名規模)

② 事業競争力の強化

- ・省力化機器・装置事業との組み合わせによる差別化
- ・エンジニア人材比率の拡大
- ・海外人材ビジネスの投資成果刈り取り

EMS事業

(億円)



製造業のファブレス化に即応する拠点戦略、開発機能の強化

- ・メガEMS：マレーシア、ベトナム、メキシコ
- ・テーラーメイド型EMS：中国（東莞）
- ・設計製造サポート型EMS：国内工場

PS事業

(億円)



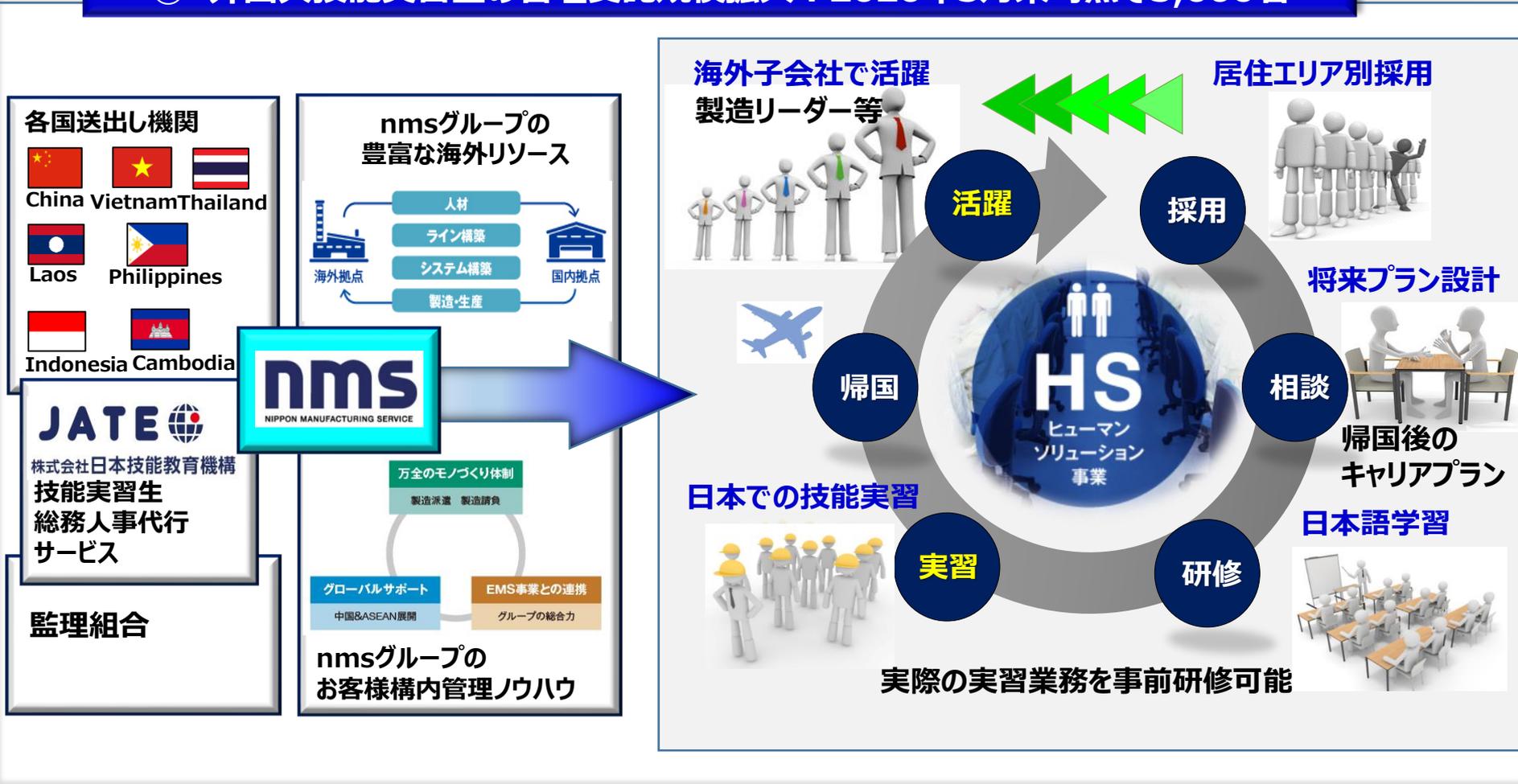
質的成長に向けた事業基盤の再構築

- ・製品ポートフォリオ見直し、抜本的コスト構造改革の実行
- ・グループリソース活用による機動的な生産体制構築
- ・「エネルギーマネジメント」を軸とした新製品の拡大

3-1. アクションプラン：HS事業

各国の政府系送り出し機関とのネットワークを活かし、教育・定着・帰国後支援等を組み合わせた好循環サイクルをつくり上げ、国際貢献に資する事業基盤を構築

① 外国人技能実習生の管理受託規模拡大：2020年3月末時点で3,000名



② 事業競争力の強化

● 省力化機器・装置事業と人材ソリューションとの組み合わせによる差別化

- ・キーエンス社高解像度カメラによる省力化装置の製造・販売を推進
- ・目視で行っていた工程の大幅な工数削減や、安定した品質管理の実現に貢献
- ・構内請負を進めながら、請負サービスのメニューとして装置化を行っていく海外ニーズにも対応
- ・今後は、設計開発力強化や、サポートインフラ体制の拡充を図り、事業拡大をめざす

人材サービス
生産ライン請負

+

生産ライン
診断・検証

+

省力化装置
設計・製作・導入

● エンジニア人材比率の拡大

- ・nmsグループの技術者派遣会社「neoテクノロジー」とのシナジー最大化
- ・お客様との契約単価引き上げを図り、収益体質の強化を推進

● 海外人材ビジネスの投資成果刈り取り

- ・現在6カ国で展開している海外人材ビジネスのノウハウを、外国人技能実習生関連の好循環サイクルに投入
- ・国内人材サービス事業との連携でお客様への提案・サービスの差別化を図り、収益力を強化
- ・コスト最適化も図り、成長に向けた体質強化を実行

* 6カ国：中国、タイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、インドネシア

製造業のファブレス化に即応する拠点戦略、開発機能の強化

【当社EMS事業の中核を担う株式会社テーキアール（TKR）の拠点戦略】

位置づけ・機能	メガEMS	マレーシア、ベトナム、メキシコ 高信頼性が求められる分野（車載関連、産業機器向けなど）
	テーラーメイド型EMS	中国（東莞） 設計開発力、コスト競争力が必要な分野（デジタル民生機器向け） 【商品設計まで行うR & Dセンターを設置】 ・TKR本社「モノづくり事業部」との連合による「R&Dセンター」が活動開始 ・開発のフロントエンドがモノづくり事業部、設計・製造が中国（東莞） ・自動化に適合した設計を行い、独自の部品選定やリードタイム短縮を実現 日本国内で不足するエンジニアの育成・確保も進め、グループ全体の生産性向上に資するノウハウの積み上げを行い、競争力強化に貢献
	設計製造サポート型EMS	国内工場 基板実装加工やユニット組立・生産などに加え、IoT関連のお客様におけるハードウェアの設計、製造インフラを持たないお客様に対する設計製造サポートビジネスを開始

●直近のトピックス

2019年3月31日：ソニー株式会社から北米・メキシコの拠点を事業譲受

2019年4月1日：メキシコ生産拠点（TKR DE MEXICO S.A de C.V.）活動開始

2019年4月：ベトナム新工場完成（TKR MANUFACTURING VIETNAM CO.,LTD.）

北中米エリア 新拠点：TKR DE MEXICO S.A de C.V.

- ソニー米国法人Sony Electronics Inc.の事業部門「Sony Service and Operations of Americas」の以下の事業を、TKR USA, Inc.が譲受
 - ・メキシコ拠点「Sony Nuevo Laredo, S.A. de C.V.」における車載関連製品等の生産、各種製品修理サービス
 - ・メキシコ拠点の生産・修理品の保管、出荷管理
- 事業譲受完了に伴い、メキシコ拠点は「TKR DE MEXICO S.A de C.V.」に社名変更し、活動開始

【狙い】 実装・プレス・成形・完成品組み立てから、試作、部品調達、検査など、広範囲にわたるノウハウを活かし、譲受事業とともに、北中米市場における車載関連分野の事業拡大を進める

1979年設立以来、当地で培われてきた人的資産及び企業文化を引き継ぎ新たな発展の源泉としていく

TKR DE MEXICO S.A de C.V.	
所在地	Nuevo Laredo, Tamaulipas, MEXICO
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・車載関連機器・部品の設計・開発・製造 ・電子機器製造受託サービス (基板実装、基板組立、プレス、樹脂成型、組立等) ・電子機器修理サービス
面積	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積 55,700 m² ・建屋面積 21,300 m²

TKR USA, Inc.	
所在地	Laredo, Texas, U.S.A.
事業内容	メキシコ拠点における生産・修理品の保管、出荷管理



ベトナム新拠点：TKR MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD.

- 2019年4月 プレス工場完成、6月より量産開始
- 工場全体は、プレス工場と実装組立工場で構成、敷地面積は40,000m²
- マレーシア拠点との機能すみ分けを行い、機動的な生産体制を構築



TKR MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD.	
所在地	Ba Thien II Industrial Park, Vinh Phuc Province, Viet Nam
事業内容	電子部品・自動車部品・その他部品の製造、 部品の販売他

【TKRならではの特長】

日本や海外のモノづくりで
培った作業効率向上ノウハウと
自動化の取り組みを
最初から展開していくことが可能



質的成長に向けた事業基盤の再構築

●製品ポートフォリオ見直し、抜本的コスト構造改革の実行

- ・市場の成熟化が進む「電源部品分野」における製品ポートフォリオの見直しを加速
- ・間接コストの引き下げや、業務の見直しによる生産性改善など、抜本的なコスト構造改革を実行
- ・部材価格高騰や景況感変動など、外部環境の変化に耐え得る強固な体質へ転換

●グループリソース活用による機動的な生産体制構築

- ・チャイナリスクや国際情勢の変化に対応すべく、フレキシブルな生産体制へ転換
多様化するお客様のニーズにお応えすることで、顧客基盤の拡大を図る

【現在】日本を開発拠点とし、既存製品の生産は中国・広東省（佛山）にて一極集中生産

⇒製品ポートフォリオ見直しと連動、グループ内EMS機能を活用したASEAN生産展開など

●「エネルギーマネジメント」を軸とした製品の売上拡大・利益貢献

- ・日産自動車 NV350キャラバン・リチウムイオンバッテリー搭載キャンピングカーに
パワーサプライテクノロジー社開発の「リチウムイオン二次電池パック」を2018年10月より納入開始
- ・自動車だけでなく、電動化が進む、建機や農機関連、産業用蓄電システム（ロボット、搬送機等）、
災害時のバックアップ電源として無停電電源装置（UPS）などへの用途拡大が可能
- ・最適コストの見極め、開発スピードを上げ、事業規模拡大を狙う

リチウムイオン二次電池パック：バッテリーシステムの充電・蓄電の
適正な制御（電池マネジメント）を行う



Piece of Innovation.

日本のモノづくり品質を、世界へ。

nms
Holdings

「ニッポンのモノづくり品質を世界へ」。

これが私たちnms HDグループのキーワードです。

3つの事業を組み合わせ、人材ソリューションから、効率生産を実現するEMS（製造受託）、さまざまな機器類の「安全・安心」を確保する電源製品の開発・製造・販売までお客様の多種多様なニーズにお応えします。

HS

ヒューマンソリューション事業

製品、製造プロセス、生産現場を
知り尽くした人材が
日本やアジア各地域で活躍

事業主体

日本マニュファクチャリングサービス

EMS

エレクトロニクス マニュファクチャリングサービス事業

お客様の競争力強化に貢献する
トータルソリューションを実現

事業主体

志摩電子工業
テーケイアール

PS

パワーサプライ事業

電源専門メーカーの技術力で
ワンランク上のソリューションを提供

事業主体

パワーサプライテクノロジー

主な連結子会社	進出国・地域	主な事業内容
ヒューマンソリューション事業（HS事業）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本マニュファクチャリングサービス株式会社 ・ 株式会社日本技能教育機構 ・ nms ロジスティクス&テクニカルソリューション株式会社 ・ 北京日華材創国際技術服务有限公司 ・ 北京中基衆合国際技術服务有限公司 ・ NMS VIETNAM CO.,LTD. ・ nms (Thailand) Co.,Ltd. ・ NMS International Resource Company Limited 	日本 中国 ベトナム タイ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造派遣／製造請負 ・ エンジニア派遣・エンジニアリング受託 ・ テクニカルサービス受託（各種リペア・リワーク・解析等） ・ 物流 3PL 受託、テクニカル流通加工 ・ 外国人技能実習制度に関わる入国後教育研修の受託、実習生受け入れ先への業務支援
エレクトロニクス・マニュファクチャリング・サービス（EMS事業）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社志摩電子工業 ・ 株式会社テーケィアール ・ 株式会社テーケィアールマニュファクチャリングジャパン ・ 中宝華南電子（東莞）有限公司 ・ TKR HONG KONG LIMITED ・ SHIMA Electronic Industry (Malaysia) Sdn.Bhd. ・ TKR MANUFACTURING (MALAYSIA) SDN.BHD. ・ TKR PRECISION (MALAYSIA) SDN.BHD. ・ TKR Manufacturing Philippines Inc. ・ TKR MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD ・ TKR USA, Inc. ・ TKR DE MEXICO S.A de C.V. 	日本 中国 香港（中国） マレーシア フィリピン ベトナム アメリカ メキシコ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子機器製造受託サービス （基板実装、基板組立、簡易プレス、樹脂成型、組立等） ・ 電子機器修理サービス ・ 車載関連機器・部品の設計・開発・製造 ・ 省力化関連装置・機器の設計・開発・製造
パワーサプライ事業（PS事業）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ パワーサプライテクノロジー株式会社 ・ 株式会社テーケィアール ・ TKR HONG KONG LIMITED ・ 中宝華南電子（佛山）有限公司 	日本 中国 香港（中国）	<ul style="list-style-type: none"> ・ カスタム電源（低圧電源、高圧電源）の開発・設計・製造・販売 ・ マグネットロールの開発・設計・製造・販売 ・ 各種トランス（スイッチングトランス、高圧トランス）開発・設計・製造・販売 ・ 電池マネジメントシステム関連製品の開発・設計・製造・販売

nms ホールディングス株式会社

<http://www.n-ms.co.jp/>

商号	nms ホールディングス株式会社
本社所在地	〒163-1445 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー45階
代表者	代表取締役社長 小野 文明
資本金	5億69万円（2019年3月31日現在）
上場証券取引所	東京証券取引所（JASDAQ市場） 証券コード 2162
事業内容	ヒューマンソリューション（HS）事業 エレクトロニクスマニファクチャリングサービス（EMS）事業 パワーサプライ（PS）事業 におけるグループ事業統括および経営管理等
主な連結子会社	日本マニファクチャリングサービス株式会社 株式会社志摩電子工業 株式会社テーキアール パワーサプライテクノロジー株式会社

本資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

本資料に記載された業績予想や将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点での入手可能な情報に基づくものですが、実際の業績は、様々なリスクや不確定要素等により大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、本資料に記載された情報やデータ等につきまして、いかなる推奨・保証等するものではなく、発生したいかなる損害につきましても一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ
nms ホールディングス株式会社
広報・IR部 Tel:03-5333-1737

